



昭和歌謡界の偉人 古賀政男

昭和の歌謡界を代表する作曲家・古賀政男。

明治大学在学中にマンドリン倶楽部の創設に参画し、独学で音楽の道に進む。
生み出された作品は“古賀メロディー”と呼ばれ、日本の大衆音楽を牽引し続けた。

没後、その実績が評価され、国民栄誉賞を受賞。

音楽に人生を捧げた古賀政男の現在も輝き続けるその功績を特集する。

CONTENTS

- P08-11 寄稿「古賀政男の功績」…宮本 紘視 (古賀政男音楽博物館 主任学芸員)
P12-13 寄稿「古賀政男と明治大学マンドリン倶楽部」
…甲斐 靖文 (明治大学マンドリン倶楽部常任指揮者)
P14-17 寄稿「昭和歌謡史の系脈focus 明治大学」…吉田 悦志 (国際日本学部教授)
P18-21 今も歌い継がれる古賀メロディー紹介
P22-25 インタビュー「音楽の父、古賀政男先生」…アントニオ古賀 (歌手・ギタリスト)

企画協力

一般財団法人古賀政男音楽文化振興財団、古賀政男音楽博物館、
古賀ミュージック、明治大学マンドリン倶楽部、明治大学史資料センター

写真提供

株式会社ひばりプロダクション、公益社団法人日本作曲家協会、
株式会社オフィス・トゥー・ワン